

令和5年度学校推薦型選抜最終選考小論文課題

東京大学教養学部教養学科

受験番号

氏名

本冊子は、指示があるまで開かないこと。

課題開始後、表紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。

解答用紙は、両面1枚のみとする。

草稿用紙としてB4用紙2枚を使用してよい。

本冊子は、終了後に回収する。持ち帰らないこと。

本冊子

表紙 1枚

白紙 1枚

課題 3枚



小論文課題（教養学科）

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

（一） 傍線部①「」とあるが、ルソーのテキストに

はどのような矛盾と両義性があるのか、七行以内でまとめて述べなさい。

（二） 傍線部②「」に関して、現代社会におけ

るこれらの可能性や問題点はどのような点にあるとあなたは考えますか。具体例を挙げながら論じなさい。

著作権の都合上削除

著作権の都合上削除

著作権の都合上削除

出典：東浩紀『一般意志2・0ールールソー、フロイト、グーグル』  
(講談社文庫、二〇一五年) 一部変更

令和5年度学校推薦型選抜最終選考小論文課題

東京大学教養学部学際科学科

受験番号

氏名

本冊子は、指示があるまで開かないこと。

課題開始後、表紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。

解答用紙は、両面1枚のみとする。

本冊子は、終了後に回収する。持ち帰らないこと。

本冊子

表紙 1 枚

白紙 1 枚

課題 2 枚

草稿用紙 2 枚

東京大学教養学部

白紙

以下の文章を読み、設問に答えなさい。

①スマート・シティはユートピア的なものとして提示されているが、実際には、都市を技術的な問題として劇的かつ近視眼的に再定義することを意味している。このような視点から都市生活の基盤や自治体のガバナンスを再構築すれば、表面的にはスマートであっても、その下では不正や不公平が蔓延する都市を生んでしまう。スマート・シティは、自動運転車がダウンタウンを支配し、歩行者が追い払われ、市民の政治参加はアプリを通じた行政サービスへの改善要求に限定される場所、警察がアルゴリズムを使って人種差別的な行為を正当化・永続化させ、政府や企業が公共空間を監視して行動をコントロールする場所になる恐れがある。

テクノロジーは社会変革を促す効果的なツールになり得るが、社会の進歩に対するテクノロジー主導のアプローチは最初から、生み出すことのできる利益が限られていたり、意図しない負の結果をもたらす運命にある。哲学者のジョン・デューイは、「問題がどう理解されるかによって、どの提案が受け入れられ、どの提案が却下されるかが決まる」と記した。社会学者のブルーノ・ラトゥールはこれに、「道具が変われば、付随する社会理論全体も変わることになる」と付け加えている。デューイとラトゥールの理路は、スマート・シティの夢がどこで道を踏み外しているのかを浮き彫りにしている。あらゆる問題をテクノロジーの問題として捉えてしまえば、技術的な解決策を検討することを通じて、その他の解決策が排除されることになる。最終的には都市の可能性やあるべき姿についての狭量な概念に行き着いてしまうだろう。

私はこのような物の見方を②「テクノロジー・ゴースル」（あるいは単に「テック・ゴースル」）と呼んでいる。テック・ゴースルはふたつの信仰に根付いている。第一に、テクノロジーは社会問題に対して中立かつ最適な解決策をもたらすというもの。そして第二に、テクノロジーこそが社会変革の主要なメカニズムである、というものだ。テック・ゴースルは、社会的・政治的な力学がもたらすあらゆる障害を覆い隠し、都市生活のすべての問題をテクノロジーの問題として認識させ、テクノロジーが解決できる問題だけに取り組みせようとしむける。テック・ゴースルを装着した人々は、市民参加、都市デザイン、刑事司法などのトピックに関連する都市課題を、テクノロジーによって改善可能な非効率性の結果であると捉えてしまう。そして、あらゆる問題の解決策は、効率性と利便性の名の下に「スマート」にする——インターネットに繋がっており、データ駆動型で、アルゴリズムが通知を飛ばす——ことだと考えてしまう。テクノロジーを変化させることができる、あるいは変化させるべき主要な変数だと見なすことで、政策改革や政治の方針転換といった他の目標が見落とされてしまうのだ。

テック・ゴースルの根本的な問題点は、そもそも複雑な社会問題に対するあざやかな解決策などというものは、たとえ可能性があったとしても、ほとんど存在しないということにある。都市デザイナーのホルスト・リッテルとメルヴィン・ウェバーは、都市の社会問題を「意



地悪な問題 (wicked problems)」と表現している。あまりにも複雑で価値中立的な答えが存在しないために、「『最適解』を語ることに意味がない」からだ。テクノロジーがこの種の問題を解決できると主張すること——技術批評家のエフゲニー・モロゾフが「解決主義」と呼ぶ態度——は、よく言えば見当違い、悪く言えば二枚舌である。

テック・ゴーグルは、悪気のないまま役に立たないガジェットを作り出すだけの代物ではない。社会を作り替える可能性をもった、危険なイデオロギーをも生み出してしまふ。私が「テック・ゴーグル・サイクル」と呼ぶプロセスを通じ、テック・ゴーグルはテクノロジーの論理で人々のふるまい、優先順位、政策を歪めていく。このサイクルは三つの段階で作動する。まず、テック・ゴーグルは、すべての問題はテクノロジーで解決できるし、また解決すべきだという認識を作り出す。このような観点から、人々、企業、政府は、社会をより効率的で「スマート」にするための新しいテクノロジーを開発し、採用してゆく。自治体や都市の住民がこれらのテクノロジーを採用するにつれ、彼らのふるまい、信念、政策観は、これらの人工物に埋め込まれた見当違いの仮定や優先順位によって形作られてゆく。これがテック・ゴーグルの視点をさらに強化し、そのイメージのもとで生み出されたテクノロジーをさらに補強することになる。このプロセスを通じて、テクノロジーによらないオルタナティブな目標やビジョンは、認識することも行動に移すことも困難になってゆく。テック・ゴーグルが、我々の集合的な想像力により深く定着してゆくのだ。

出典：ベン・グリーン著 中村健太郎、酒井康史訳 (2022)『スマート・イナフ・シティ——テクノロジーは都市の未来を取り戻すために』人文書院 (一部改変)

#### 問題

(1) 下線部①について、「スマート・シティはユートピア的なもの」であるとはどのようなことを意味するのか、上記の文章を踏まえて簡潔に説明しなさい。

(2) 下線部②について、「テクノロジー・ゴーグル (テック・ゴーグル)」とはどのような物の見方か、上記の文章を踏まえてわかりやすく説明しなさい。

(3) スマート・シティに対する問題提起を踏まえ、都市は新しいテクノロジーをどのように取り入れるべきか、あなた自身の生活に即し、できる限り具体的に述べなさい。

以上

令和5年度学校推薦型選抜最終選考小論文課題

東京大学教養学部 国際日本研究コース

受験番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

本冊子は、指示があるまで開かないこと。

課題開始後、表紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。

解答用紙は、両面1枚のみとする。

本冊子は、終了後に回収する。持ち帰らないこと。

本冊子

表紙 1枚

白紙 1枚

課題 1枚

草稿用紙 2枚（冊子に草稿用紙を綴じこみ）

東京大学教養学部

白紙

## 小論文課題

### Essay Question

Write an essay on the following (in English):

Winston Churchill, who served as Prime Minister of the United Kingdom from 1940 to 1945, once said, “democracy is the worst form of government – except for all the others that have been tried.”

Discuss on this quote.

以上

東京大学教養学部